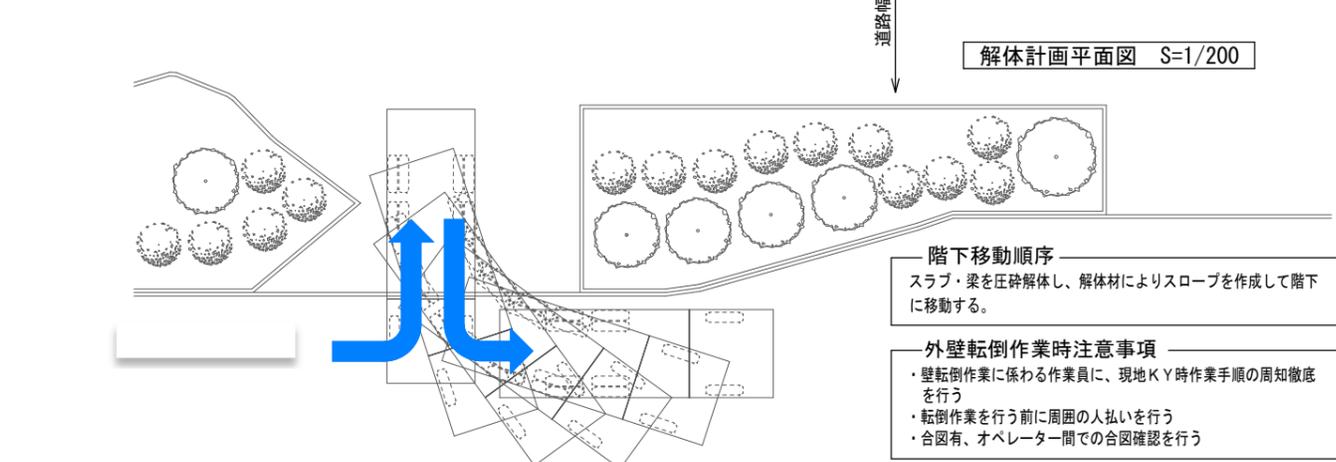
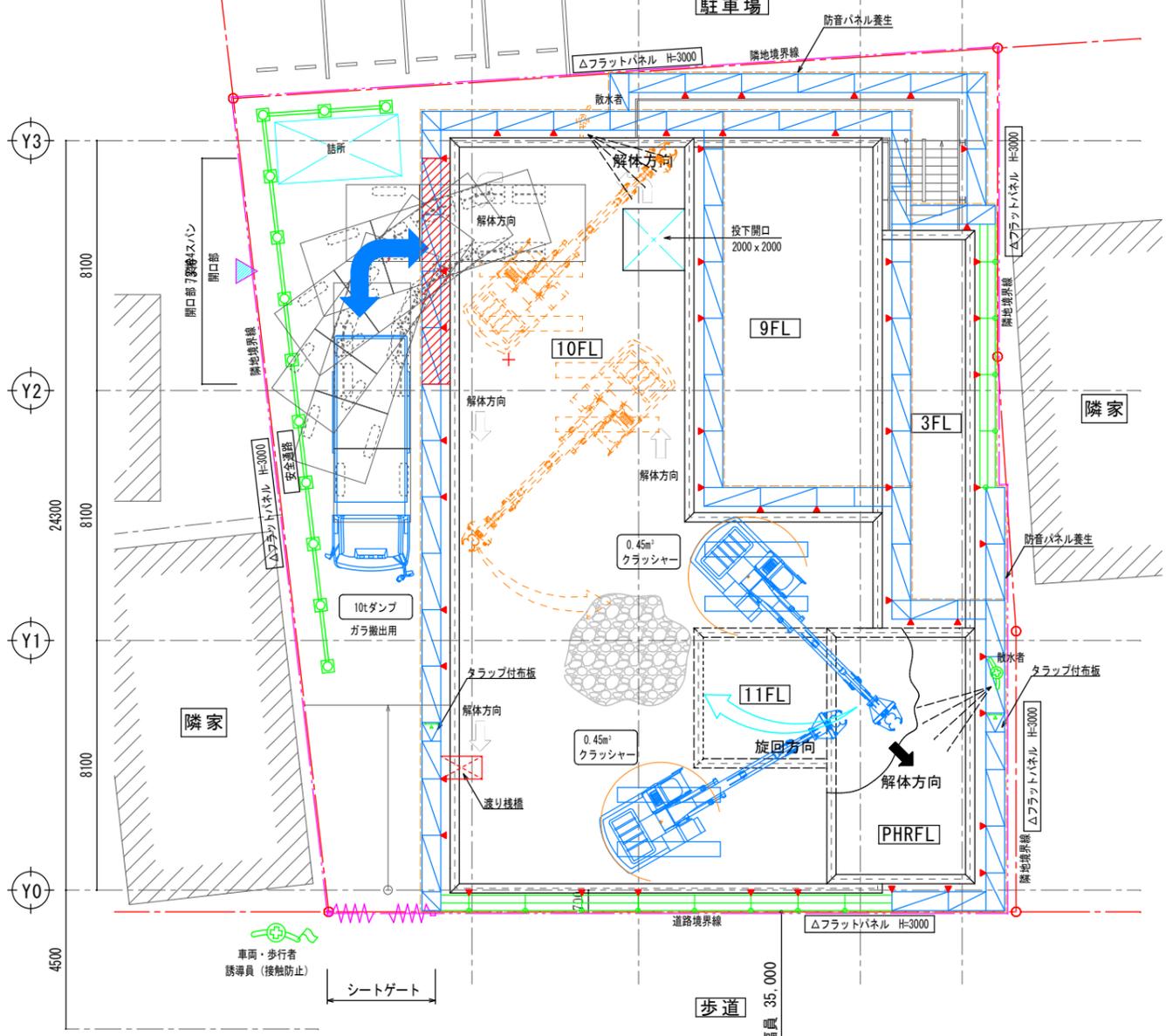
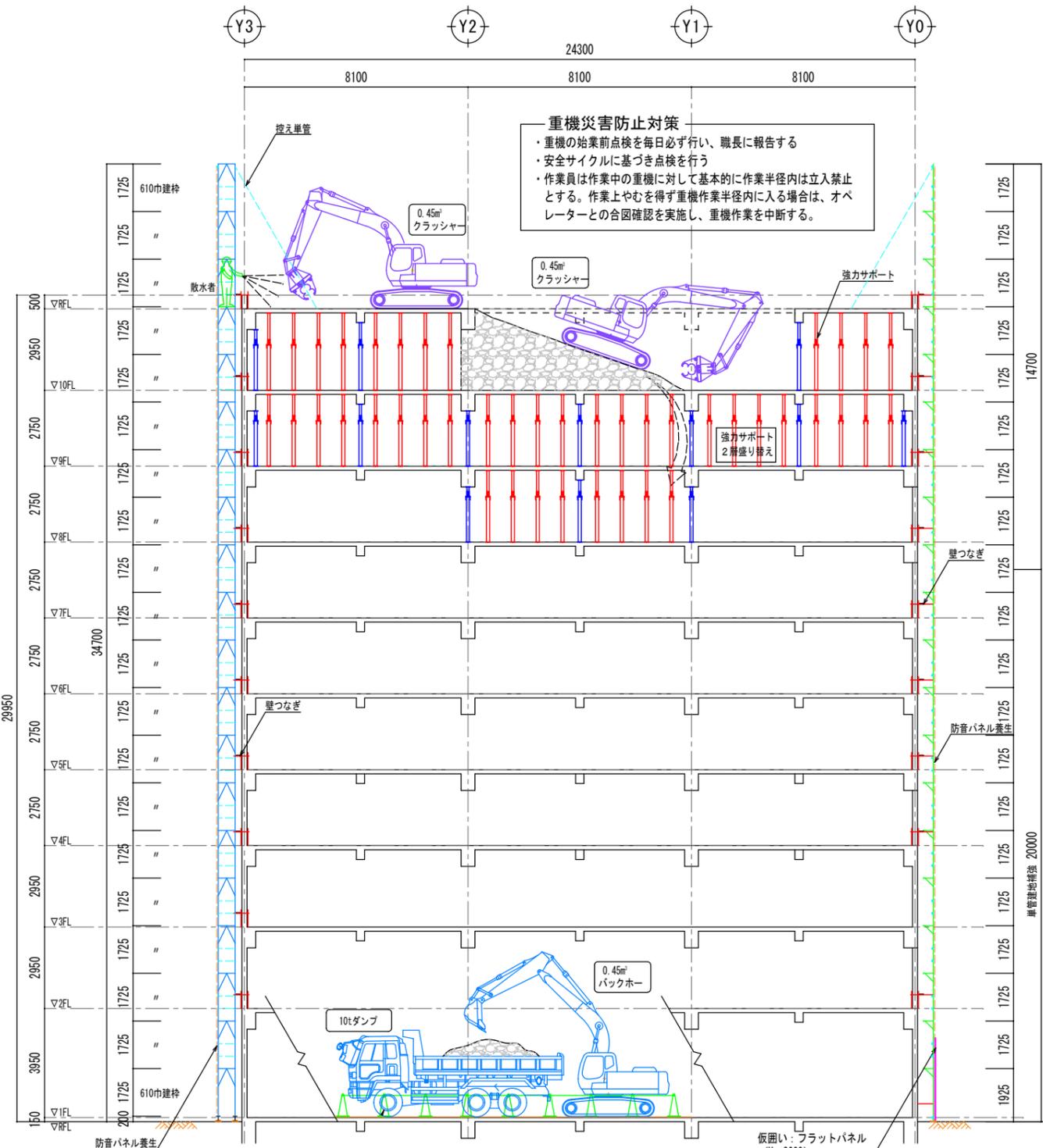
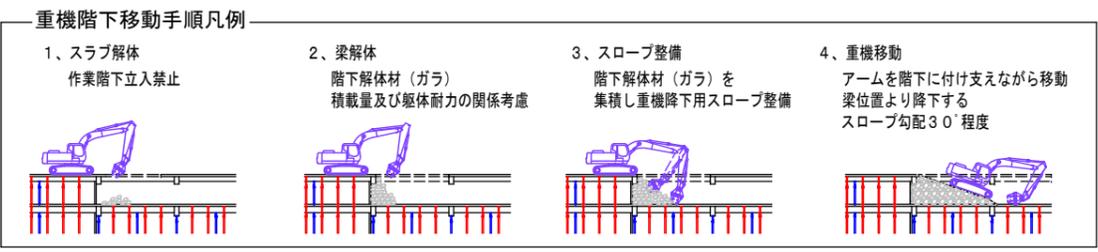


凡例	
	枠組足場 (610巾建枠)
	単管プラケット足場
	タラップ付布板
	壁つなぎ取付位置
	渡り棧橋
	フラットパネル (H=3000)

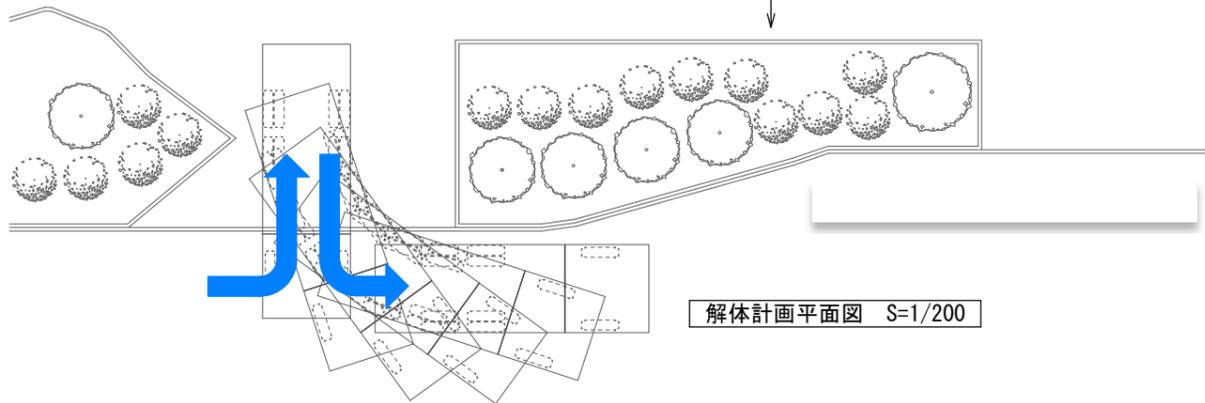
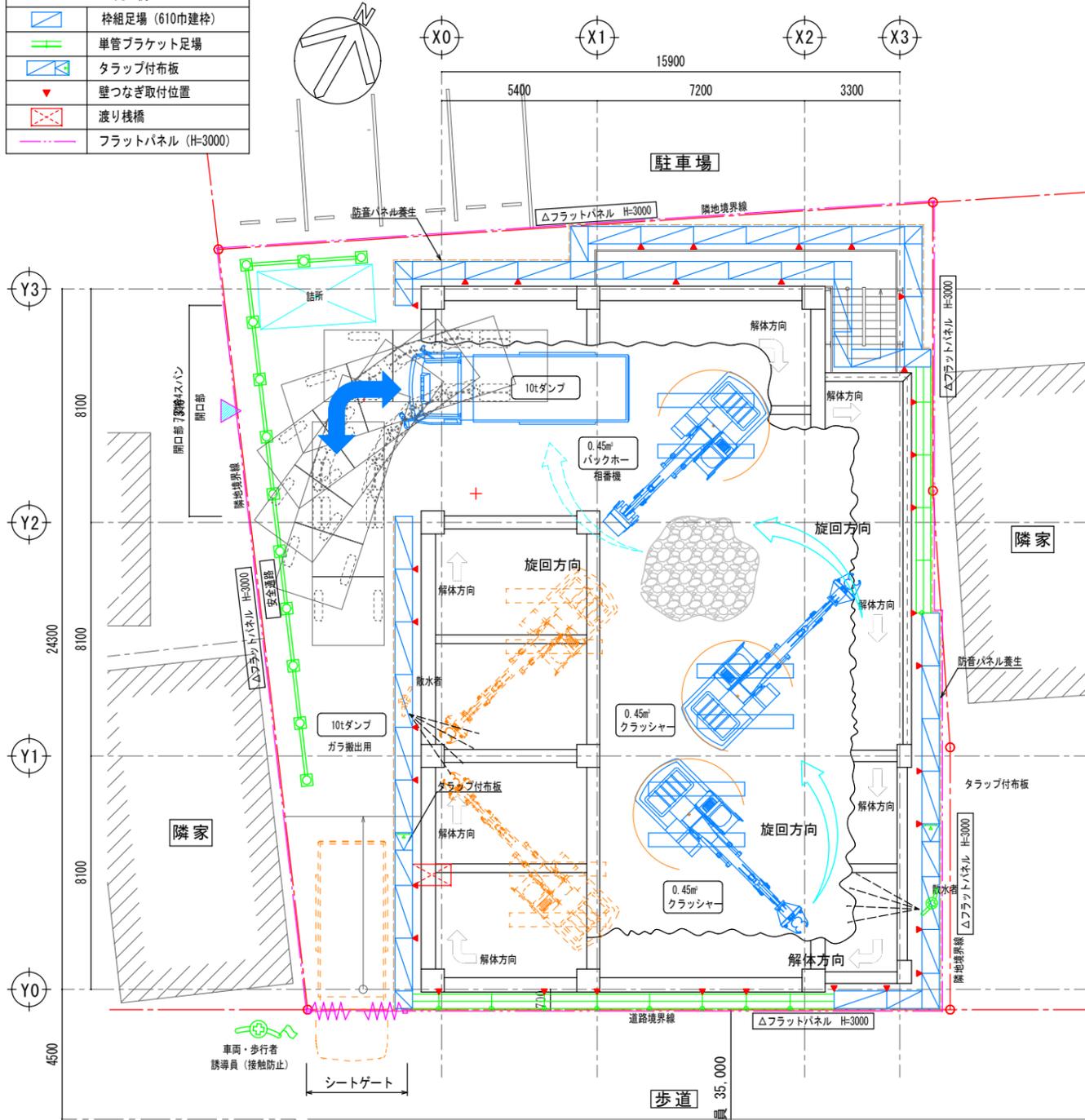


- 共通注意事項**
- ・高所作業及び足場上で行う際は安全帯を使用し作業を行う
 - ・散水者は安全な位置で散水を行う
 - ・移動の際は、安全な通路及び昇降設備を使用する
 - ・関係者立入禁止措置を明確に行う
 - ・重機の作業半径には立ち入らない
 - ・複数の重機使用では安全な隔離距離をとる

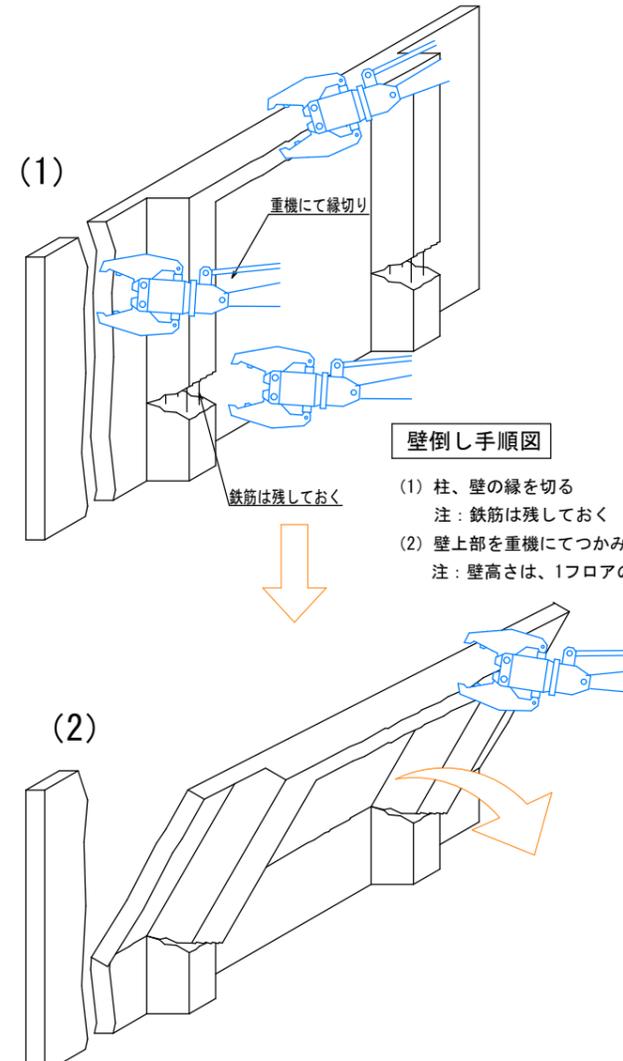


解体計画断面図 S=1/200

凡例	
	枠組足場 (610巾建枠)
	単管プラケット足場
	タラップ付布板
	壁つなぎ取付位置
	渡り棧橋
	フラットパネル (H=3000)



解体計画平面図 S=1/200



壁倒し手順図

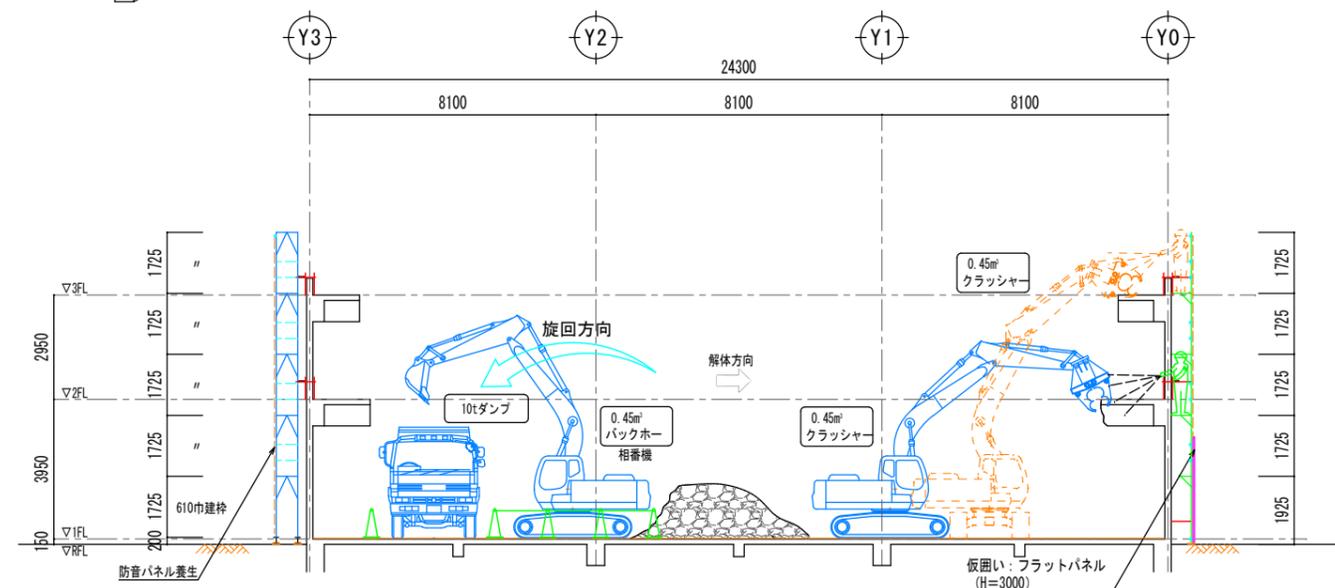
- (1) 柱、壁の縁を切る
注：鉄筋は残しておく
- (2) 壁上部を重機にてつかみ手前に倒す
注：壁高さは、1フロアの高さとする

スラブ残し 寸法	
3F天井スラブ残し	寸法 1.0m
2F天井スラブ残し	寸法 1.5m
1F天井スラブ残し	寸法 1.8m
重心計算：別紙参照	
内側重心を保つ為にスラブは、1m以上残す。	
オペレーターの目線を考慮する。	

- 重機災害防止対策
- 重機の始業前点検を毎日必ず行い、職長に報告する
 - 安全サイクルに基づき点検を行う
 - 作業員は作業中の重機に対して基本的に作業半径内は立入禁止とする。作業上やむを得ず重機作業半径内に入る場合は、オペレーターとの合図確認を実施し、重機作業を中断する。

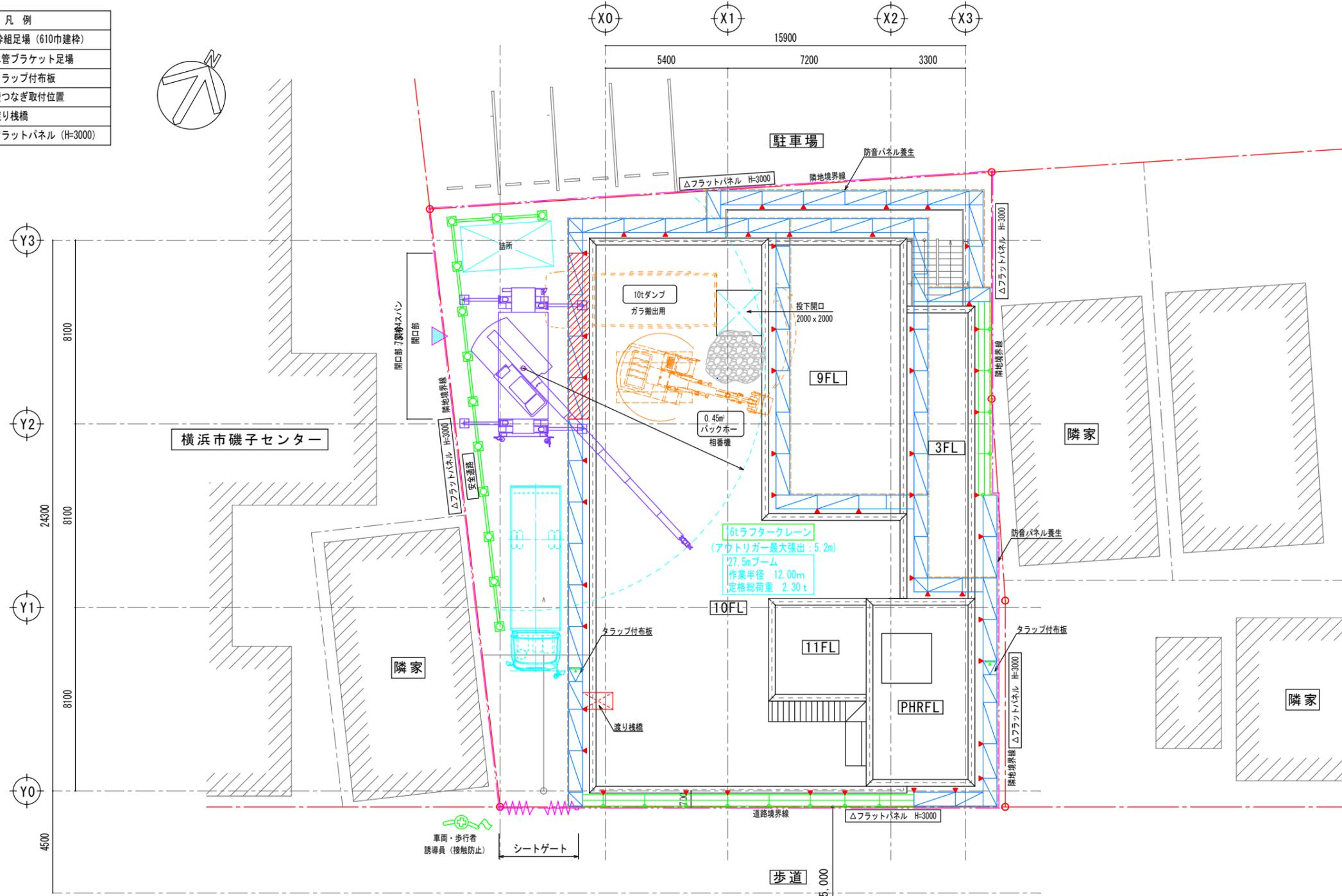
- 外壁解体時注意事項
- 作業性を考慮して計画通りの縁切り、根回しが無理なく出来る道具を選びその要領を守る
 - 自立安定した壁を加えて転倒させる基本的な考え方を崩さない
 - 着手から転倒完了まで連続作業とし途中で休止してはならない
 - 切断する鉄筋は転倒の寸前とする
 - 逆転防止鉄筋は切断しない
 - 根回し部は鉄筋に囲まれた内側を壊しすぎない
 - 作業員の退避を確認してから転倒する
 - オペレーターは指揮者の合図を確認してから転倒する
 - 転倒後、壁つなぎを確認補強する

- 共通注意事項
- 高所作業及び足場上で行う際は安全帯を使用し作業を行う
 - 散水者は安全な位置で散水を行う
 - 移動の際は、安全な通路及び昇降設備を使用する
 - 関係者立入禁止措置を明確に行う
 - 重機の作業半径には立ち入らない
 - 複数の重機使用では安全な隔離距離をとる



解体計画断面図 S=1/200

凡例	
	枠組足場 (610巾建枠)
	単管プラケット足場
	タラップ付布板
	壁つなぎ取付位置
	渡り棧橋
	フラットパネル (H=3000)

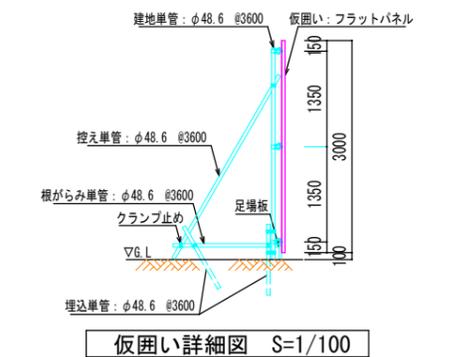
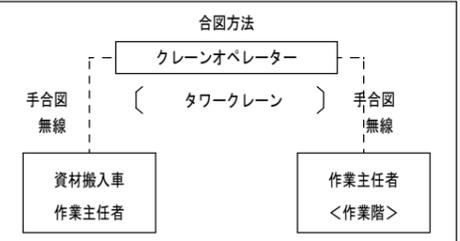


重機災害防止対策

- 重機の始業前点検を毎日必ず行い、職長に報告する
- 安全サイクルに基づき点検を行う
- 作業員は作業中の重機に対して基本的に作業半径内は立入禁止とする。作業上やむを得ず重機作業半径内に入る場合は、オペレーターとの合図確認を実施し、重機作業を中断する。

外壁解体時注意事項

- 作業性を考慮して計画通りの線切り、根回しが無理なく出来る道具を選びその要領を守る
- 自立安定した壁を加力で転倒させる基本的な考え方を前さない
- 着手から転倒完了まで連続作業とし途中で休止してはならない
- 切断する鉄筋は転倒の寸前とする
- 逆転防止鉄筋は切断しない
- 根回し部は鉄筋に囲まれた内側を壊すさない
- 作業員の退避を確認してから転倒する
- オペレーターは指揮者の合図を確認してから転倒する
- 転倒後、壁つなぎを確認し補強する



定格総荷重表

単位 (t)

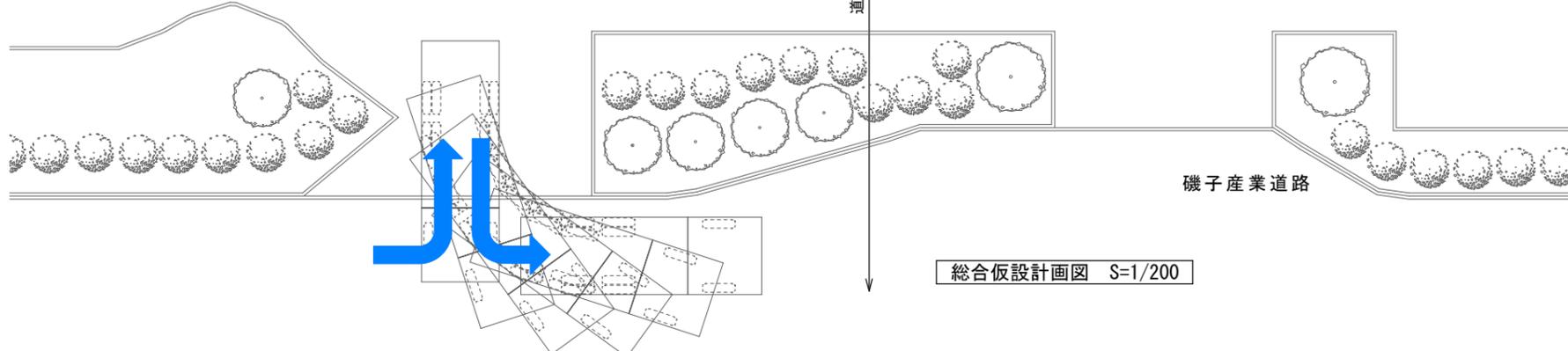
ブーム長さ 作業半径	アウトリガ最大張出 (5.2m) 一周					
	6.5 m	10.7 m	14.9 m	19.1 m	23.3 m	27.5 m
2.5 m	16.00	12.00	9.00	7.00		
3.0 m	16.00	12.00	9.00	7.00		
3.5 m	14.00	12.00	9.00	7.00	5.00	3.50
4.0 m	12.50	12.00	9.00	7.00	5.00	3.50
4.5 m	11.50	11.10	9.00	7.00	5.00	3.50
5.0 m		10.25	8.90	7.00	5.00	3.50
5.5 m		9.40	8.20	7.00	5.00	3.50
6.0 m		8.80	7.60	6.60	5.00	3.50
7.0 m		6.75	6.40	5.80	4.70	3.50
8.0 m		5.30	5.00	5.00	4.15	3.35
9.0 m		4.30	4.00	4.25	3.70	3.00
10.0 m			(8.7m)	3.25	3.50	3.30
11.0 m				2.65	2.95	3.00
12.0 m				2.15	2.45	2.70
13.0 m				1.80	2.05	2.30
14.0 m					(12.9m)	1.75
15.0 m						1.45
16.0 m						1.25
17.0 m						1.05
18.0 m						1.05
19.0 m						0.90
20.0 m						0.75
22.0 m						0.60
24.0 m						(21.3m)
A (°)	0 ~ 82					

A : ブーム角度の範囲 (無負荷時)

共通注意事項

- 高所作業及び足場上で行う際は安全帯を使用し作業を行う
- 散水は安全な位置で散水を行う
- 移動の際は、安全な通路及び昇降設備を使用する
- 関係者立入禁止措置を明確に行う
- 重機の作業半径には立ち入らない
- 複数の重機使用では安全な隔離距離をとる

枠組足場 : W=610
 積載荷重 : 250kg/スパン
 プラケット側足場
 積載荷重 : 100kg/スパン



総合仮設計画図 S=1/200